

## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社秋川牧園 上場取引所 東  
 コード番号 1380 URL <http://www.akikawabokuen.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋川 正  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 原田 良人 TEL 083-929-0630  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	7,392	4.6	11	△40.7	153	△36.6	98	△37.0
2023年3月期	7,070	6.5	19	△82.9	242	2.0	156	△2.2

(注) 包括利益 2024年3月期 90百万円 (△37.2%) 2023年3月期 144百万円 (△9.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	23.58	—	4.6	2.3	0.2
2023年3月期	37.43	—	7.5	4.2	0.3

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	7,050	2,187	31.0	523.57
2023年3月期	6,073	2,138	35.2	512.11

(参考) 自己資本 2024年3月期 2,182百万円 2023年3月期 2,135百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	393	△1,114	637	696
2023年3月期	449	△708	172	779

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	41	26.7	2.0
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	41	42.4	1.9
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		52.1	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,903	7.5	△17	—	10	△91.7	△6	—	△1.47
通期	8,050	8.9	85	630.1	125	△18.6	80	△18.5	19.21

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）秋川牧園（常州）農業有限公司、除外 1社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	4,179,000株	2023年3月期	4,179,000株
2024年3月期	9,878株	2023年3月期	9,877株
2024年3月期	4,169,123株	2023年3月期	4,169,123株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	7,381	4.8	123	△31.0	129	△34.8	89	△27.9
2023年3月期	7,042	6.7	178	△16.4	198	△7.8	124	△17.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	21.53	－
2023年3月期	29.88	－

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2024年3月期	6,198		1,997		32.2		479.01	
2023年3月期	5,394		1,952		36.2		468.29	

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,997百万円 2023年3月期 1,952百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期（累計）	3,789	4.4	15	△87.2	6	△91.7	1.49	
通期	7,830	6.1	100	△22.2	65	△27.2	15.67	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2023年4月1日～2024年3月31日）におけるわが国の経済は、コロナ禍の終息に伴って社会経済活動の正常化が進んだものの、国際情勢の悪化、円安の進行、物価の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続きました。食品業界につきましては、原材料や人件費など様々なコストが上昇する中で、実質所得の減少を背景とした消費者の節約シフトが進んでおり、厳しい事業環境となっております。

当社グループにつきましては、冷凍加工食品を中心に販売が好調に推移したことに加え、製品の値上げ効果もあり、売上高は増加しました。利益面につきましては、販売増及び値上げ効果がありましたが、間接部門における今後の成長に向けての積極的な支出の増加や、原材料及び人件費などのコストアップ要因により減益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、73億92百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は11百万円（前年同期比40.7%減）、経常利益は1億53百万円（前年同期比36.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は98百万円（前年同期比37.0%減）となりました。なお、営業利益が経常利益と比較して少額となっておりますが、これは、飼料価格の高騰時に備えた、国、飼料メーカー、生産者の積立金を財源とする、飼料価格安定基金からの補填金収入（82百万円）及び飼料高騰に伴う地方自治体からの補助金収入（55百万円）を営業外収益で計上していることが主な要因であります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （生産卸売事業）

生産卸売事業につきましては、主な販売先である生活協同組合において、冷凍加工食品を中心に販売が好調に推移したことに加え、製品の値上げ効果もあり、売上高は増加しました。利益面につきましては、原材料価格や人件費の上昇、鶏肉一次処理場の歩留り悪化などのコストアップ要因がありましたが、販売増及び値上げによる効果等により増益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、57億35百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は3億78百万円（前年同期比19.1%増）となりました。

#### （直販事業）

当社の食を中心とした安心・安全な食品を全国の個人の消費者に直接お届けする直販事業につきましては、値上げ効果がありましたが、コロナ禍の終息に伴う宅配特需からの反動減により売上高は対前年比で減少しました。利益面につきましては、売上の減少要因に加えて、新たに建設した物流センターの什器・備品の購入費用及び減価償却費、人件費の上昇などのコストアップ要因により減益となりました。

この結果、直販事業の売上高は、16億56百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は73百万円（前年同期比32.3%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### （資産）

当連結会計年度末の総資産は、前年同期に比べ9億77百万円増加して70億50百万円となりました。これは主に有形固定資産の増加（7億45百万円）、商品及び製品の増加（2億11百万円）及び売掛金の増加（96百万円）等によるものです。

#### （負債）

負債につきましては、前年同期に比べ9億28百万円増加して48億63百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加（7億12百万円）、リース債務の増加（1億12百万円）及び、短期借入金の増加（39百万円）等によるものです。

#### （純資産）

純資産につきましては、前年同期に比べ48百万円増加して21億87百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加（56百万円）によるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当期純利益が1億49百万円（前連結会計年度は2億36百万円の純利益）となり、減価償却費（4億22百万円）、長期借入れによる収入（11億60百万円）、未収入金の減少額（1億11百万円）等から、有形固定資産の取得による支出（10億31百万円）、長期借入金の返済による支出（2億73百万円）、短期借入金の純減（2億円）等を控除した結果、前連結会計年度末に比べ83百万円減少し、6億96百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は3億93百万円（前連結会計年度は4億49百万円の獲得）となりました。

これは主として、税金等調整前当期純利益（1億49百万円）、減価償却費（4億22百万円）等から、棚卸資産の増加額（1億73百万円）、法人税等の支払額（81百万円）等を控除した結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は11億14百万円（前連結会計年度は7億8百万円の使用）となりました。

これは主として、有形固定資産の売却による収入（6百万円）等から、有形固定資産の取得による支出（10億31百万円）及び、連結範囲の変更を伴う子会社株式取得による支出（73百万円）等を控除した結果によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は6億37百万円（前連結会計年度は1億72百万円の獲得）となりました。

これは主として、長期借入れによる収入（11億60百万円）等から、長期借入金の返済による支出（2億73百万円）、短期借入金の純減（2億円）等を控除した結果によるものであります。

(4) 今後の見通し

世界的な商品価格の上昇基調と円安、そして深刻化する人手不足を背景として、広範囲でのコストアップが持続し、その長期化リスクが高まっています。

当社グループではそのような中でも持続的な成長に向けて、人財力、ブランド力、事業競争力をさらに高めるため、2024年4月からスタートした新・中期計画の7つの基本戦略を柱に様々な課題に取り組んでまいります。

【中期経営計画 7つの基本戦略】

①人財戦略

持続的な成長に向けて一番の鍵となる人財力を高めるため、社員が安心してチャレンジできる環境づくり、人財マネジメントの強化、社員満足度の向上、人事部門の強化など、様々な課題に取り組んでまいります。

②ファン化戦略

秋川牧園の食をより多くの方に食べていただき、また食の安心・安全の大切さや秋川牧園の様々な取り組みの情報発信を強化することで、秋川牧園ファンを増やし、ブランド力をさらに高めてまいります。

③鶏肉・冷食事業の变革

日本の人口減少と人手不足の深刻化が進む中でも、鶏肉・冷食事業をさらに成長させるため、冷食の商品構成の成型品シフト、機械化及びIT化、商品開発の強化、販売・製造計画の精緻化など、様々な变革を進めてまいります。

④直販事業の強化

直販事業の成長力を高めていくために、ベースとなるブランド力の向上、会員様限定商品の開発、ユーザビリティの改善、顧客との関係づくりの高度化など、事業の独自性と競争力の強化に取り組んでまいります。

⑤中国鶏肉事業の基盤の確立

2024年3月より当社グループの連結子会社となった秋川牧園（常州）農業有限公司ですが、販路の拡大、鶏の無投薬飼育技術のさらなる安定化、加工における品質管理の強化などにより、事業基盤の確立に取り組んでまいります。

⑥サステナビリティ戦略

サステナビリティ推進委員会を設置し、脱炭素、脱プラ、地域連携の強化など、総合的な取り組みを全社的に進めます。また、野菜や穀類の生産を起点にした「土の分野」の事業化にチャレンジし、深刻化する中山間地の農業問題への貢献を目指します。

⑦食の信頼

秋川牧園の「食の信頼」を引き続き守っていくため、品質管理及び生産管理をさらに強化していきます。また、消費者からの期待に応えるためにも、商品力の強化や各現場での改善活動による生産性の向上にも継続的に取り組んでまいります。

(中期経営計画における数値目標)

売上高	2024年3月期 (実績)	2027年3月期 (中期目標)
生産卸売事業	57.4億円	70億円 (+12.6億円)
直販事業	16.6億円	20億円 (+3.4億円)
合計	74億円	90億円 (+16億円)
連結経常利益率	2.1%	3.0%以上

次期の業績の見通しとしましては、売上高につきましては新たに連結化した中国鶏肉事業の貢献及び製品の値上げ効果に加えて、冷食を中心とする販売拡大、積極的な会員募集費の投入による宅配会員増により、生産卸売事業、直販事業ともに増収を見込んでおります。

利益面につきましては販売拡大及び値上げ効果があるものの、飼料価格が高止まりする中での飼料価格安定基金からの補填金収入及び飼料高騰に伴う行政からの補助金収入の縮小、給与改定に伴う人件費の増加、1月から稼働した直販新物流センターの償却負担の影響等により、減益の見込みとなっております。

予想数値は、売上高80億50百万円（当連結会計年度比8.9%増）、経常利益1億25百万円（当連結会計年度比18.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益80百万円（当連結会計年度比18.5%減）となっております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重視し、かつ、秋川牧園ブランドの確立と中長期的な成長に向けての積極的な投資と堅実な財務体質を両立することを基本方針としております。

当期（2024年3月期）につきましては、上記の方針を踏まえ、1株10円の配当とさせていただく予定です。また、次期（2025年3月期）につきましては、上記の方針を踏まえ、1株10円の配当を継続させていただく予定であります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	779,750	696,356
売掛金	830,156	926,308
商品及び製品	205,032	416,411
仕掛品	363,942	428,244
原材料及び貯蔵品	240,470	239,360
未収入金	129,470	18,386
その他	84,974	140,962
貸倒引当金	△2,264	△4,875
流動資産合計	2,631,531	2,861,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,076,649	3,772,286
減価償却累計額	△1,806,582	△1,913,337
建物及び構築物 (純額)	1,270,066	1,858,948
機械装置及び運搬具	1,967,724	2,107,854
減価償却累計額	△1,500,386	△1,553,153
機械装置及び運搬具 (純額)	467,338	554,700
使用権資産	—	175,834
減価償却累計額	—	△18,341
使用権資産 (純額)	—	157,493
土地	1,042,166	1,083,788
建設仮勘定	229,889	82,011
その他	378,086	405,206
減価償却累計額	△265,498	△274,542
その他 (純額)	112,587	130,663
有形固定資産合計	3,122,049	3,867,605
無形固定資産		
のれん	8,816	5,168
その他	18,642	33,404
無形固定資産合計	27,459	38,572
投資その他の資産		
投資有価証券	134,772	129,933
長期貸付金	18,710	485
繰延税金資産	107,743	116,795
その他	31,105	35,929
投資その他の資産合計	292,331	283,144
固定資産合計	3,441,840	4,189,322
資産合計	6,073,371	7,050,478

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	449,034	456,195
短期借入金	1,326,749	1,365,928
リース債務	7,001	20,343
未払法人税等	55,261	30,016
賞与引当金	42,977	45,496
その他	530,873	573,263
流動負債合計	2,411,896	2,491,243
固定負債		
長期借入金	1,145,099	1,858,069
リース債務	9,488	121,806
繰延税金負債	10,452	10,165
退職給付に係る負債	298,047	320,466
役員退職慰労引当金	60,294	61,647
固定負債合計	1,523,382	2,372,155
負債合計	3,935,279	4,863,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	553,441	553,441
利益剰余金	818,392	874,992
自己株式	△5,880	△5,881
株主資本合計	2,080,103	2,136,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,954	51,579
為替換算調整勘定	—	△5,447
その他の包括利益累計額合計	54,954	46,131
非支配株主持分	3,034	4,245
純資産合計	2,138,092	2,187,079
負債純資産合計	6,073,371	7,050,478

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当連結会計年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
売上高	7,070,463	7,392,457
売上原価	5,416,646	5,650,001
売上総利益	1,653,817	1,742,456
販売費及び一般管理費	1,633,978	1,730,701
営業利益	19,838	11,754
営業外収益		
受取利息	218	296
受取配当金	1,225	1,544
受取保険金	4,011	—
補填金収入	165,580	82,373
補助金収入	47,435	59,978
その他	15,514	15,065
営業外収益合計	233,983	159,256
営業外費用		
支払利息	10,949	15,318
その他	677	2,118
営業外費用合計	11,627	17,436
経常利益	242,195	153,574
特別利益		
固定資産売却益	1,182	3,291
補助金収入	1,000	18,843
受取補償金	1,948	—
特別利益合計	4,131	22,134
特別損失		
固定資産売却損	1,507	616
固定資産除却損	2,644	2,130
減損損失	186	2,704
固定資産圧縮損	1,000	18,843
鳥インフルエンザによる損失	4,689	—
段階取得に係る差損	—	1,765
特別損失合計	10,027	26,059
税金等調整前当期純利益	236,298	149,650
法人税、住民税及び事業税	77,283	58,005
法人税等調整額	2,169	△7,857
法人税等合計	79,453	50,148
当期純利益	156,845	99,502
非支配株主に帰属する当期純利益	803	1,211
親会社株主に帰属する当期純利益	156,042	98,290

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当連結会計年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
当期純利益	156,845	99,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,498	△3,375
為替換算調整勘定	—	△5,447
その他の包括利益合計	△12,498	△8,822
包括利益	144,347	90,679
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	143,543	89,467
非支配株主に係る包括利益	803	1,211

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	714,150	553,441	704,041	△5,880	1,965,752	67,453	67,453	2,231	2,035,437
当期変動額									
剰余金の配当			△41,691		△41,691				△41,691
親会社株主に帰属する当期純利益			156,042		156,042				156,042
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						△12,498	△12,498	803	△11,695
当期変動額合計	—	—	114,351	—	114,351	△12,498	△12,498	803	102,655
当期末残高	714,150	553,441	818,392	△5,880	2,080,103	54,954	54,954	3,034	2,138,092

当連結会計年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	714,150	553,441	818,392	△5,880	2,080,103	54,954	—	54,954	3,034	2,138,092
当期変動額										
剰余金の配当			△41,691		△41,691					△41,691
親会社株主に帰属する当期純利益			98,290		98,290					98,290
自己株式の取得				△1	△1					△1
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						△3,375	△5,447	△8,822	1,211	△7,611
当期変動額合計	—	—	56,599	△1	56,598	△3,375	△5,447	△8,822	1,211	48,986
当期末残高	714,150	553,441	874,992	△5,881	2,136,702	51,579	△5,447	46,131	4,245	2,187,079

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	236,298	149,650
減価償却費	392,744	422,398
減損損失	186	2,704
のれん償却額	3,648	3,648
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△794	△43
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,171	2,518
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10,469	1,352
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,113	22,419
受取利息及び受取配当金	△1,443	△1,840
支払利息	10,949	15,318
固定資産売却損益 (△は益)	324	△2,675
固定資産除却損	2,644	2,130
固定資産圧縮損	1,000	18,843
補助金収入	△1,000	△18,843
受取補償金	△1,948	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△113,919	△68,406
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△121,963	△173,954
未収入金の増減額 (△は増加)	△85,053	111,083
仕入債務の増減額 (△は減少)	93,704	6,355
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	1,765
その他	28,056	△26,196
小計	440,249	468,227
利息及び配当金の受取額	1,443	1,840
利息の支払額	△12,222	△14,174
補助金の受取額	1,000	18,843
補償金の受取額	53,990	—
法人税等の支払額	△35,449	△81,494
営業活動によるキャッシュ・フロー	449,011	393,242
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△683,851	△1,031,375
有形固定資産の売却による収入	8,748	6,788
有形固定資産の除却による支出	△710	—
出資金の払込による支出	△13,000	—
投資有価証券の取得による支出	△17	△17
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△73,784
貸付けによる支出	△24,460	△420
貸付金の回収による収入	7,782	4,200
ソフトウェアの取得による支出	△2,924	△19,590
その他	81	△119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△708,350	△1,114,318
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	△200,000
長期借入れによる収入	400,000	1,160,000
長期借入金の返済による支出	△377,269	△273,857
配当金の支払額	△41,624	△41,458
自己株式の取得による支出	—	△1
リース債務の返済による支出	△8,199	△7,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	172,907	637,682
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△86,431	△83,394
現金及び現金同等物の期首残高	866,182	779,750
現金及び現金同等物の期末残高	779,750	696,356

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントについて、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントから構成されており、「生産卸売事業」と「直販事業」の2つを報告セグメントとしております。

「生産卸売事業」は、主に産直型の生活協同組合や宅配会社向けに、鶏肉、冷凍加工食品、鶏卵および牛乳等の生産・販売をしております。「直販事業」は、当社の食品を中心とした食品と生活雑貨を会員向けに販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は各セグメントにおける製造原価の状況を勘案し、双方協議に基づいて取引を行っております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	5,375,406	1,695,056	7,070,463
セグメント間の内部売上高 又は振替高	467,452	4,402	471,855
計	5,842,859	1,699,459	7,542,318
セグメント利益	318,255	108,559	426,815
セグメント資産	4,583,731	427,691	5,011,422
その他の項目			
減価償却費	358,880	15,878	374,759
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	646,666	8,443	655,110

当連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	5,735,913	1,656,543	7,392,457
セグメント間の内部売上高 又は振替高	457,763	4,555	462,319
計	6,193,677	1,661,099	7,854,776
セグメント利益	378,982	73,394	452,376
セグメント資産	5,476,354	803,321	6,279,676
その他の項目			
減価償却費	376,605	26,978	403,583
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	354,223	625,526	979,749

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	7,542,318	7,854,776
セグメント間取引消去	△471,855	△462,319
連結財務諸表の売上高	7,070,463	7,392,457

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	426,815	452,376
のれんの償却額	△3,648	△3,648
全社費用(注)	△403,328	△436,973
連結財務諸表の営業利益	19,838	11,754

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	5,011,422	6,279,676
全社資産(注)	1,061,949	770,801
連結財務諸表の資産合計	6,073,371	7,050,478

(注) 全社資産は、主に当社グループにおける余資運用資金（現金及び預金他）、長期投資資金（投資有価証券他）及び管理部門に係る資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	374,759	403,583	17,985	18,814	392,744	422,398
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	655,110	979,749	23,132	45,614	678,243	1,025,364

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各セグメントに属さない本社の構築物及び工具、器具及び備品等の設備投資額であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	512.11円	523.57円
1株当たり当期純利益	37.43円	23.58円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	156,042	98,290
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益(千円)	156,042	98,290
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,169	4,169

(重要な後発事象)

該当事項はありません。